

①

坂田博士: 20日 Pugwash 報告
1950. 12. 10 両国 出陣

Wisconsin

Dr. 坂田 博士

- 1A International Security Problems
- 1B European Security Arrangements
- 2 Disarmament and Arms Limitation
- 3 International Cooperation in Science and Technology
- 4 Science, Technology and Development

2. Disarmament and Arms Limitation

SALT

deterrence の内通等

i) 核兵器の削減

ii) 両国の核兵器の生産能力の削減
に及ぼす

iii) 現実に 戦術兵器, tactical weapons

の削減が 求められている。

政治的内通等

すべからず SALT の政策等を

米ソの取り引き → 最終に交渉の場にする。

SALT を 早く 妥協させる

核兵器の内通等

MIRV

これら 核兵器の削減

第一 弾 能力の増大 →

(2)

外観有新的の標改替が技術的に可能
→ 空法係数という浅油の強さEとAの
対策: ABMの制御 ← MIRV内容
の言葉は研究の JCBM
既に固定高度をへらす
（標高を現地に誘致）
爆撃機が対空を撃たぬ。
対策は devalue の上にある?

核兵器の
地下法線の増えの 100 核兵器の
はしり 3.5 兆トン
地下核兵器の 家への改設の。
平和条約の意義を認めざるの危険
核兵器の防止、
解決し得ない理由

BC 決定。
1. 核兵器の使用禁止の
「2 年」決定の
核兵器の削減を定款する
一方の削減、
削減に伴う汚染。

(3)

I A. International Security Problems

理想モデル: 従来の理想モデルからの
拡張.

balance of power model の再考

i) 2-12, 13 の流れを model にして

11日-12日 地域的の国際関係

内政を重視する → 国際的関係と

national interest は一致しない →

ii) Sobolov: 安全システムの相違

→ cooperation

経済的

iii) 相互の利益が異なる, しかし, 内政

の利益が異なる → 国家間の行動

の差を内政, (政治的行動の差)

坂本 A: 1)

i) 米の立場の遅延, 共有, slow down

LT2 armstice についてのみ

ii) 米の立場, 共有, 米の立場からの共同

支配, 午海, (一方の立場: 米, 午海)

何となく, 午海での共同支配.

iii) 西側が社会発展形態としての

model としている.

Harrison Brown's comment

(4)

i)
ii)

中国語の問題

中国語の問題

この世界的な領域の重要性
の重要性の意見一致
アラブ世界の重要性 → この世界のアラブ世界の
政策に反映して欲しい

インドの問題

インドの問題?

パキスタン

インドの問題

フロンティア: intellectual genocide
disappear → walk-out
→ 知識の消滅

後世への政策議論

カナダ代表: 以前に政策をたす

3. Int. Coop. in Sc. and Tech.

国際科学技術協力の促進

4. Sc. Tech. & Development

国際科学技術発展のための政策の検討

国際科学技術協力の促進としてのGPA

4.2の1回目で Pugwash is

5

- i) Interdisciplinary
- ii) Broadly International
- iii) Finely Individual
- iv) Indelicate

Pugwash の方針 (1947)

- i) 米ソ両極化の危機に、大衆の啓蒙を期した。
- ii) 核兵器、核戦略に関する科学的知識の普及。
(99%が核兵器の非保有)
- iii) 米ソの経済発展に障害を及ぼさずして、

SALT についての議論の中心は「核兵器の削減」(1979)

核兵器削減の米ソの共通点が増え、(「冷戦の終結」と「冷戦の終結」) (冷戦の終結)

核兵器削減の米ソの共通点が増え、(「冷戦の終結」と「冷戦の終結」)

米ソ: 30% 削減
ソ連: 85% 削減

核兵器削減の Competence に関する議論は、
米ソ両国と核兵器削減の 43,

Pugwash 核兵器削減の目標

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
 京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

Stripes and stripes
 A Revolution in
 sub detection

⑥

realism の後方, 毎年の in 4x0.5
 現況 新約的
 Rabinovich の 革命
 今の establishment
 世の 問題: 新約的 4x0.5
 入るか;

○ 学生 見方
 学校 校長: 牧

Student aid
 学校 校長: 牧

豊田: second strike of ineffectiveness?
 600 米
 milli-second

○ Prologis sub. +
 phased sonar array
 error 1m / km
 50-60 decibel → 10 dec.
 識別力の discrimination?
 今の 豊田: 新約的 4x0.5

校長, 豊田
 今の あり方
 豊田の
 豊田の) 新約的

丸山 敬三

↑ 敬三?

(7)

敬三: 物理学と人間との関係
物理学の issue に対しては
どう、
学の上の時代、
技術の発展

敬三: 目標、~~等~~ の設定

山内: 敬三 ~ 50%
山内: 敬三、敬三
敬三: 敬三

敬三 敬三 敬三

敬三

technology engineer

敬三 敬三の敬三

Peace Research

敬三の敬三

敬三: 敬三

敬三 敬三 敬三 敬三
敬三 敬三 敬三 敬三
敬三 敬三 敬三 敬三

敬三: 敬三
敬三 敬三 敬三 敬三
敬三 敬三 敬三 敬三

(8)

technical discussion

坂田: 素粒子論の専門的議論.

坂田: niece of Yukawa 宛に書かれた
本原の洞窟から電子線を出すの事.
素粒子論の発展

免状:

influential の意味で出た.

坂田: 向こう側

Yukawa に好まれる

同様の事

ベトナム核実験の事

免状

BC 免状 → 専門的でない事

Peace Research Institute

平和(国際)研究所

International Peace Research Inst

(Stockholm) 国連を基とする

研究にかかわる人、member 10人、

25名 (理事10人)

坂田氏: 総論委員会規約改正

Power station の Radiation の問題.